

会 議 録

会議名	平成29年度 第5回 小金井市学童保育所運営協議会	
事務局 (担当課)	児童青少年課	
開催日時	平成29年8月28日(月)19時00分～20時35分	
開催場所	市役所第二庁舎 801 会議室	
出席者	委員	伏見委員長、百瀬副委員長、大澤委員、鈴木委員、中山委員、外山委員、小岩井委員、安達委員、大村委員、田上委員、藤森委員、井出委員、野口委員
	事務局	山田学童保育係長
会議次第	1 開会 2 議題 (1) 学童保育の保育内容について (2) その他 3 閉会	
配布資料	・2017 夏季宅配弁当アンケート ・平成27年度の委託と直営との比較に伴う財政効果 ・平成28年度の委託と直営との比較に伴う財政効果	
議事	1 開会 2 (1) 学童保育の保育内容について ①宅配弁当に関するアンケート (学) 前回の運営協議会以後、指導員の方に意見を求め、それらの意見を反映した。具体的な変更点としては、設問5、設問8を追加した。他に軽微な修正を加え、本案を作成した。この案のとおり実施してよろしいか。意見を伺いたい。 (市) 指導員の意見を代表できないため、一度持ち帰り改めて回答したい。 (学) 9月5日までに回答をもらいたいが可能か。具体的には、設問5、設問8を新設し、設問7については、「宅配弁当を食べることで他の子とトラブルがあった」という回答項目を追加した。設問13については、学保連からの意見で、設問を追加した。なお、基本的には指導員の意見は全て反映している。 (市) 改めて指導員の意見を集約し、期日までに回答する。 (学) 指導員からの意見として、ご飯の量が多いとの意見が寄せられた。現在、武蔵野給食センターに状況を説明しており、対応として、ご飯をなくすことは可能であるとの回答を得ている。弁当発注サイト上に「ご飯無しメニュー」を追加すれば、早期対応も可能であるとのこと。早ければ冬	

にはそういった対応も可能となる。「ご飯なしメニュー」を追加した場合、ご飯がある児童と、無い児童の配膳方法が違うため、指導員の方の負担が増えることになると思う。意見を伺いたい。

(市) 現在は注文者のリストを見ながら、おかずとご飯をセットで渡すので確認作業は少なかった。ご飯無しの者がいるとなると注意が必要だが、できないことはない。

(学) 了解した。

(市) 冬休みは、「ご飯なしメニュー」を実施する意向か。

(学) 発注サイトの変更作業を行えば、早期に実施可能であることから、同協議会で方向性が決まれば、冬休みに間に合いそうである。

(市) 値段は変わらないのか。

(学) 20～30 円程度は安くする回答を得ている。現在 330 円なので、大幅な値引きは難しいだろうとのこと。

②放課後子供教室と学童保育の連携について

(市) 担当課から、全学校のコーディネーターにヒアリングを行なったと報告を受けている。また、今年度に入り、課長、担当者で数回打ち合わせを持っており、連携強化を図っている。現在、生涯学習課において、平成 31 年度末までのスケジュールをまとめているところではあるが、担当部署でないため、本日はお出しできない。

(学) 学童保育が大規模化する中で、放課後子供教室を拡充して少しでも学童保育の希望者を吸収してもらえれば、という話もあったと記憶しているが。

(市) 学童の所管部署としては、少しでも学童保育の代わりになり、また、高学年を含めた居場所として機能すればいいとの考えは持っている。そういった中で、放課後子供教室の関係会議に出席して、拡充をお願いしてきたところである。生涯学習課も一体型、連携型でやらなければいけないということで、現在、生涯学習課と児童青少年課で打ち合わせを行っている。

(学) 経過が難しいことは理解した。放課後子供教室の昨年度の実績を見ると、各校、週 1 回～2 回である。今後増えていくのか。

(市) コーディネーターの考え方、校長の考え方、空き教室の状況も各校違う中で、拡充が難しい面もある。

(学) 学童保育と放課後子供教室の連携を整理するという話を聞いたが、これは市としての目標なのか？

(市) 平成 26 年度に国の指針として「放課後子ども総合プラン」が出された。この計画は、全ての子どもについて、安心して安全な、居場所を作ると

というのが趣旨であり、学童保育の拡大、放課後子供教室の拡大等が計画に盛り込まれている。市としても国の考え方に添って、進めていきたいと考えている。

(学) 一体型と連携型があると思うが、実際に都内の自治体で一体型、連携型をやっている自治体はあるのか？

※ 学校と学童が同じ敷地の中にあれば、一体型、別の離れた場所にあれば連携型。

(市) すでに進めているところはある。情報によれば、武蔵野市は、一体型、連携型を既に進めている。一体型、連携型は学校と学童施設の場所による名称の違いによるものであるため、市内の地域によっても様々であると認識している。

また、学童保育と放課後子供教室を1事業者が運営する一体化にも移行している。

小金井市は武蔵野市のような、放課後子供教室と学童保育を一緒に実施するような「一体化」を目指すものではなく、あくまでも、一体型、連携型の定義に添って、協議会等を実施し、連携を図ることを目指している。放課後子供教室の件は進捗があれば報告する。

(学) 了解した。

③財政効果について

(市) 資料の説明。

(学) 平成27年度と平成28年度を比較すると、都型学童クラブ補助金の1施設当たりの額が下がっているが原因は。

(市) 補助基準額が下がったのが原因である。

(学) 都型学童クラブ補助金の単価が下がって、直営人件費が上がったから、財政効果が下がったということか。

(市) そのとおり。

(学) 補助金が増えたり減ったりする理由・原因は。

(市) 都担当課長からは、国の補助金が増額された分を調整した結果、都型学童クラブ補助金の単価を下げたという説明を受けている。

(学) 正規職員で減った人数はどこにいったか。他の事業に回ったのか。

(市) 前回委託の際には、何名かの職員を事務に任用換えしている。その代り、新規職員の採用を抑制した。

(学) 本資料は、学童事業に限定して集計した場合の財政効果という資料であると理解していいか。

(市) お見込みのとおり。補足として、委託当時も財政効果があることに

については、説明をしてきたが、他に、延長保育、子育てひろば、障害児の受入れ枠の撤廃など対応してきた。財政効果ありきの委託ではなく、サービス拡充とセットのものであったと理解してほしい。

(学) 財政効果の分については、大規模化対策に使われるというような話が以前あったが、実際はどのような使い方をされたのか。

(市) 各父母会からの要望等を予算に反映させるため、財政当局に交渉してきた。実際に備品、修繕等のため措置されたものも多数ある。所管部署としては施設の建替えのための起債の償還にも充てられているという理解をしている。

(学) 金額を繰り越すことはできないのか。

(市) 財政効果分を基金にしているわけではなく、予算編成上不可能。財政当局との予算交渉の際に財政効果を加味した措置をするよう交渉していく。

(学) 大規模化に対応した椅子、机等の予算は措置されているのか。また、一輪車や備品等は。

(市) 椅子、机については、一人一脚を確保するため、毎年対応している。備品については、ここ数年間、9学童のうち2～3学童しか措置されない現実があった。しかし、平成29年度は、9学童に予算が付くような形になっており、今後も継続していけるよう財政課と協議する。

また、消耗品については、一律10%カットとなる予算方針であるため、担当としては、10%カットさせないことに力を入れて財政と交渉している。幸い、平成29年度からは、児童一人当たりの単価で予算措置されるよう調整ができており、少なくとも今年度と同等の水準は維持されと考えている。ただし、年々保育に直接使える消耗品額が少なくなっていることは指導員からも聞いているため、増額できるよう努力は続けていく。

(学) 施設清掃についての考え方は。

(市) 施設清掃については、毎年要求し、財政課の査定でカットされている。しかしながら、平成30年度も要求しようと考えている。特に、エアコン清掃は専門業者でなければできない施設もあるため、予算要求の中でエアコンについての措置を特に強く求めていきたい。

④利用者アンケートについて

(市) 障害児の関係の設問21を削除し、それ以外は前年同様とするということで、回答を得ているため、そのように進めていくがよろしいか。

(学) 了承する。

(市) 次回、日程と、アンケート用紙(完成版)を示すこととする。

(2) その他

①ほんちょう学童暫定2所化による、正規・非常勤等の職員配置について
(学)年度の途中にほんちょう学童が児童館2階で暫定的に2所化されたことに伴い、正規・非常勤の職員配置に影響は。

(市) 現在のところ、年度当初の配置数を変える予定はない。

②あかね・みどりの大規模化に関する進捗について

(市) 引き続き情報収集、調整に努めているが、現時点の報告事項はない。
みどり学童については、児童館を有効活用できるように、児童館職員の理解を得ている。

③委託の進捗状況について

(市) 9月上旬に第1次審査の結果を事業者へ通知予定。その後、第2次審査のプレゼンテーション及びヒアリングを行い事業者を決定する予定。
次回の運営協議会では、1次審査の結果と、2次審査の日程について報告する。

④引継ぎ契約の仕様書について

(市) 次回の協議会で結論をもらいたい。

(学) 了解した。

次回の日程 9月20日、22、26日を予定。

3 閉会